ご自由にお取りください

2018 冬号 第48号

相生山病院ニュース

●編集／医療法人 清水会 相生山病院広報委員会●名古屋市緑区藤塚三丁目2704番地 TEL(052)878-3711●http://www.aioiyama.or.jp/

新年の挨拶

～変革のとき～

院長　佐藤 貴久

皆様、新年あけましておめでとうございます。

東海大地震による天災の被害と、北朝鮮による人災の被害が心配されていましたが、本年も例年どおり無事に新年を迎えることができ、安心するとともに、平和であることの有り難さを実感しているところです。

皆さまにとって昨年はどのような1年だったでしょうか？いつもと変わらない平和な1年だったと思えるなら、それが一番幸せなのかもしれませんね。またその一方で、世の中は刻一刻と進化し続けています。安倍政権の掲げる第3の矢である「新たな成長戦略」において、重要な役割を担うとされる科学技術イノベーション。その実現のために注目されているものの1つとして、自動車の自動運転があります。トヨタ自動車は2020年～2022年に自動運転可能な自動車の一般販売を開始すると発表しました。トヨタは今までも有言実行してきましたので、今回も実現させるでしょう。つまり、5～7年後には自動運転の時代が来ているのです。世の中の流れは我々の想像以上に速いのです。新しい技術が生まれ、標準化されるという、大きな生活環境の変化に要する期間は、歴史的に見ても、たった5～7年なのだそうです。

例えば、もともと一般家庭に車などなかった時代から、大衆車のスバル360が1958年に発売されると、1965年には720万台超の販売実績となり、街に自家用車が走るのが普通になりました。1960年にNHKや民放4社からカラーの本放送が開始されると、1967年にはテレビ受信契約件数が2000万件を突破し、多くの家庭でカラーテレビが見られるようになりました。2008年にスマホが発売されると、携帯型の小型パソコンを持っている感覚に近いと、その便利さが評判となり、普及率70%を超えたのが2015年です。つまり、いずれも開発後に全国民に普及するのに要した期間はたったの5～7年間だったのです。

現在時代を塗り替える新しい科学技術として注目されているものに、人工知能(AI)があります。AIは現在掃除機、エアコン、冷蔵庫などで既に利用されていますが、その外にも囲碁や将棋のトップ棋士を破ってニュースになったことは記憶に新しいと思います。AIの圧倒的な強みは、ミスをしないことと疲れないこと、更には自ら思考する能力が備わっているため、進化していくことです。AIが普及すると、世の中の仕事の約6割の仕事はAIが担うことになるとも言われています。なかなか想像できませんが、そんな大きな社会構造の変化が生じるのも、それほど遠い未来の話ではないのかもしれません。医療の世界に於いても、医療診断などは既に実用化されています。AIによる画像診断が一般化されれば、画像の読影はほとんどをAIが担うようになるでしょう。医療の世界、特に介護領域では、人としての触れ合いであるヒューマンタッチが特に重要だと言われていますが、その一方で転換が可能な領域へのAI化の波は一気に訪れると思います。そして、その時代の流れに付いていけないと、時代遅れな医療を提供する結果となり、患者様にご迷惑をおかけすることにも繋がりかねません。AIの汎用化に伴い、世の中のあらゆる業界で変化を求められると思います。人工知能（AI）の思考力が、人間の思考力を超えるシンギュラリティ（技術特異点）が起こる危険性を指摘する声もありますが、今後AIの発展と普及を止めるのは難しく、大きな社会構造の変化が訪れることは避けられないと感じています。相生山病院は、患者様のことを第一に考え、“まごころ”を感じていただけるような温かみのある病院であり続けるという根幹はぶれることなく、利便性、有益性、必要性等を考慮し、変わるべきところはきちんと対応し、引き続き皆様のお役に立てるように精進してまいりたいと考えています。皆様におかれましても、AI化により自分たちのスタンスを変えるべきなのか、従来のままで問題はないのか、時代の流れに即したスピード感で検討されると宜しいのではないでしょうか。本年が皆さまにとっても素晴らしい一年になり、飛躍の転機の年となりますことを心から願っております。本年も何卒宜しくお願いいたします。

相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者　副院長　松浦　昭

診療時間	診察室	月	火	水	木	金	土
9:00〜12:00	外来 1診	越川	呼吸器科 加藤	神谷	後藤	奥田	前田・鈴木
	外来 2診	【予約診療】佐藤(貴)	佐藤(徹)	【予約診療】佐藤(貴)	松浦	鈴木	殿村
	外来 リハビリ科	奥田	奥田	倉上	服部	服部	倉上
	内視鏡		松浦			松浦	
14:00〜16:00	専門外来	ボトックス外来 服部			摂食・嚥下外来 服部		
17:00〜19:00	夜外来	鈴木	殿村	後藤	松浦	【予約診療】佐藤(貴)	

急患の方はいつでも診察いたします。

東海慢性期医療協会 第20回研修会　11月12日(日)　名古屋国際会議場

当院から3題発表し、言語聴覚士の横井拓郎さんが発表した「当院での栄養摂取状態の調査と経口摂取確立に関わる因子の検討」で優秀賞を頂きました。

地域教育講座 「健康になってちょ!!」レポート

相生山病院では、地域の方々の健康に少しでもお役に立ちたいと考え、健康な生活を送るための知識や病気の予防などについての講座を設けています。今回は下記の2講座を実施いたしました。

10月14日(土) 15:00～
「地域包括支援センターを活用しよう」
講師：中部地域包括支援センター 眞野 潤

11月18日(土) 15:00～
「長寿時代に備えて ～がんによって苦しまないために、当院の新しい試み～」
講師：松浦 昭 副院長

ボランティアレポート

相生山病院では入院患者様に、治療以外の生活の楽しみを感じていただき、療養生活に活気を持っていただくことを目的にボランティア活動を行っていただける方を受け入れています。

12月16日(土) 14:00～
「オカリナ演奏会」
オカリナピースフル

お知らせ

専門外来を開設しました

ボトックス外来	毎週月曜日 14:00～16:00
摂食・嚥下外来	毎週木曜日 14:00～16:00

『健康になってちょ!』講演会

相生山病院では、皆様方のご健康を願い「健康になってちょ！」と題して健康教育講座を設けております。どうぞお気軽にご参加ください。

1月20日(土) 15:00～　「治す医療から治し支える医療へ」　院長 佐藤 貴久

3月24日(土) 15:00～　「食べる機能の低下の予防」　リハビリテーション科　村瀬 幸恵

ボランティア

2月10日(土) 14:00～　「オペラ」

講演会やボランティア参加のお問い合わせはTEL(052)878-3711へお電話ください。

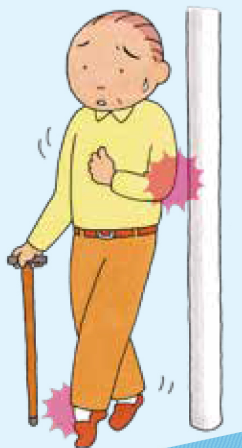
“ボツリヌス療法（ボトックス注射）”

脳卒中後の痙縮（手足のつっぱり）の治療

脳卒中の後遺症でよくみられる障害の一つに「痙縮（けいしゅく）」という症状があります。痙縮とは筋肉が緊張しすぎて、手足が動かしにくかったり勝手に動いてしまう状態のことです。手指が握ったままとなり開きにくい、ひじが曲がる、足先が足の裏側のほうに曲がってしまうなどの症状がみられます。痙縮は、日常生活に支障が生じるだけでなく、リハビリテーションの妨げにもなってしまう場合があります。また、痙縮の症状を長い間放っておくと、筋肉が固まってさらに関節の運動が制限される「拘縮（こうしゅく）」という症状につながることもあります。

痙縮（けいしゅく）

- 筋肉が緊張しすぎてしまう状態で、手足がこわばったり、つっぱったりします。
- 片まひと同じ側の手足に現れることがほとんどです。



ボツリヌス療法

- つっぱったり、こわばっている筋肉に、直接お薬を注射します。
- 注射した筋肉のつっぱりや強張りをやわらげます。

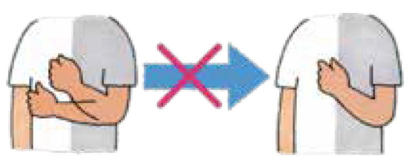
現在、痙縮に対して、内服薬や注射薬などのさまざまな治療法があります。注射薬では、筋肉を緊張させている神経の働きを抑えるボツリヌストキシンを注射するボツリヌス療法があります。ボツリヌス療法は、ボツリヌス菌が作り出す天然のタンパク質の有効成分を筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。

当院ではボツリヌス療法を受けることができます。

どの筋肉のつっぱりが日常生活の妨げになっているかを検討し治療を行います。患者さんは、痛みが軽減し動きやすくなり、リハビリが行いやすくなります。また、介護の負担も減ります。

リハビリテーションがしやすくなります

関節が固まって動きにくくなったり、変形するのを防ぎます

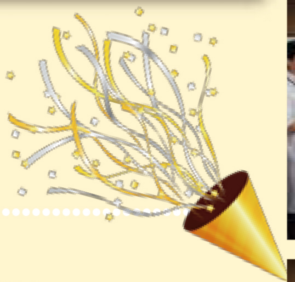


介護の負担が軽くなります

詳しくは当院までお問い合わせ下さい。

創立42周年記念式典

永年勤続表彰者



勤続40年
木股 隆久（検査）

勤続30年
山内 留美子（看護師）

勤続20年
渡辺 千恵（看護師）
杉浦 将人（法人本部経理）

勤続10年
菊地 有香（看護師）
安田 清子（看護師）
飯田 泰久（理学療法士）
三浦 エミ（看護師）
原　真美（介護士）